

名曲聴きくらべ “モーツァルト編”

〈結果発表〉

【歌劇「魔笛」第2幕 夜の女王のアリア “復讐の心は地獄のように”】
演奏順（10点満点） 【参加11名】

演奏順	演奏者	合計点数	総合順位
1.	リタ・シュトライヒ(S) フェレンツ・フリッチャイ指揮 ベルリン放送交響楽団 (1955)	82	④
2.	シルヴィア・ガステイ(S) ヴォルフガング・サヴァリツシウ指揮 ウィーン・フィルハーモニー (1970L)	79	⑦
3.	ルチアーナ・セツラ(S) ゲオルク・シヨルテイ指揮 ウィーン・フィルハーモニー (1991L)	73	⑧
4.	エルナ・ベルガー(S) トマス・ビーチャム指揮 ベルリン・フィルハーモニー (1938)	71	⑨
5.	ウイルマ・リップ(S) カール・ベーム指揮 ウィーン・フィルハーモニー (1955)	88 (10点1名、9点2名)	②
6.	ナタリー・デッセイ(S) ロジャー・ノリントン指揮 ウィーン・フィルハーモニー (2000L)	82	④
7.	ルチア・ポップ(S) オットー・クレンペラー指揮 フィルハーモニア管弦楽団 (1964)	88 (10点3名、9点1名)	②
8.	エディタ・グルペローヴァ(S) ジェームズ・レヴァイン指揮 ウィーン・フィルハーモニー (1979L)	85	③
9.	ディアナ・ダムラウ(S) リッカルド・ムーティ指揮 ウィーン・フィルハーモニー (2006L)	96 (10点4名、9点3名)	①

総評 第1位のダムラウは、のびのある高音とドラマティックな表現力が圧倒的。現代最高のコロラトゥーラ・ソ프라ノとしての存在感を示しています。第2位のポップはゆったりと歌い、この曲にしては上品かも知れませんが、こんな夜の女王もあり、と思わせる美しさがあります。同点第2位のリップは、安定感があり、親しみやすい歌唱は魅力的です。第3位のグルペローヴァは歌い方に少し癖がありますが、圧倒的な表現力とパワーに素晴らしいさを感じます。

【交響曲第40番ト短調K.550】演奏順（10点満点）【参加15名】

演奏順	演奏者	合計点数	総合順位
1.	ギユンター・ヴァント指揮 北ドイツ放送交響楽団 (2000L)	111	④
2.	ガリー・ベルティーニ指揮 シュトゥットガルト放送交響楽団 (1993L)	100	⑧
3.	カール・リヒター指揮 ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団 (1976L)	107	⑤
4.	クリストファー・ホグウッド指揮 エンシェント室内管弦楽団 (2001L)	107	⑤
5.	ジョージ・セル指揮 クレーヴランド管弦楽団 (1970L)	116 (10点2名、9点3名)	②
6.	ニコラウス・アーノンクール指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 (2006L)	117 (10点3名、9点2名)	①
7.	オトマール・スウィトナー指揮 ベルリン国立歌劇場管弦楽団 (1978L)	107	⑤
8.	カール・ベーム指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 (1973L)	113 (10点2名、9点3名)	③

総評 第1位のアーノンクールはピリオド奏法を取り入れた演奏ですが、ウィーン・フィルの柔らかな美しい音色が魅力的。アーノンクールも気力の充実した指揮ぶりで、豊かな響きを持った名演です。第2位のセルは、厳しく、恐ろしく張り詰めた緊張感を持った演奏ですが、決して冷たくはなく、むしろ透明感のある暖かさがあり、完成度の高い名演です。第3位のベームは、格調高い品の良さがあり、きびきびとした音楽運びと安定感、魅力に溢れています。